

### 3・3 アジア船主協会(ASA)

#### 3・3・1 ASA 総会

ASA は、当協会の主催により、2021 年 5 月 18 日、オンラインで第 30 回総会を開催した。同総会は、当初東京で対面会合を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大や国際移動制限にともないウェブ会議システムを用いて、参加人数を限定し開催された。当協会から内藤会長(ASA 会長)、中島副会長、森重理事長らが出席したほか、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN、豪州の各船協から代表が参加した。

ASA は、1992 年に第 1 回総会(当協会主催)を開催して以来、メンバー国/地域の船主協会が北から南の順で毎年議長を回り持ちしながら総会を開催しており、毎年の年次総会の間に 5 つの常設委員会(船員(SC)、船舶保険・法務(SILC)、航行安全・環境(SNEC)、海運政策(SPC)、シップリサイクリング(SRC))がそれぞれ中間会合を開催している。5 つの常設委員会の構成および各委員会への当協会代表(2021 年 5 月 18 日時点)は【資料 3-3-1-1】のとおりである。

第 30 回 ASA 総会では、前年度決算・当該年度予算や次期正副会長等、ASA の組織に関する事項が審議・了承された他、各委員会委員長より 1 年間の活動概要が報告された。

総会終了後には、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう船員交代問題、海運における脱炭素、運河通航料金、シップリサイクル、海賊問題等に関する ASA の意見をまとめたプレスリリース(【資料 3-3-1-2】参照)が発表された。

次回第 31 回総会は、定款の定め(回り持ち)により韓国船協の主催により、韓国・ソウルで開催される予定である。

#### 3・3・2 ASA 会長会議

ASA 加盟船協会長で構成される ASA 会長会議は、第 30 回総会と併催で 2021 年 5 月 18 日と 10 月 20 日に夫々オンラインで開催された。

5 月の第 28 回会長会議では、2020 年決算をはじめとする ASA の業務運営に関わる問題について意見交換されたほか、当協会の主導により、ASA の活動活性化に向けた方策検討のための臨時 WG(メンバーは各メンバー事務局長級を想定)を開催することとなった。

臨時 WG は同年 7 月 9 日にオンラインで開催された他、その後もメールにて意見交換を実施し、検討の結果、メディア対応の強化(シンガポール船協との協力拡大)、ICS との共催 Web セミナー開催、Web サイトおよび定期刊行物(ASA Newsletter)の内容拡充(メンバー船協からの寄稿拡大等)などを通じた対外プレゼンス強化および既存会員の ASA への帰属意識向上が図られることとなった。

同年 10 月の第 29 回会長会議では臨時WG結果を踏まえた ASA 活動活性化に関し意見交換がなされ、ICS との共催 Web セミナーの結果(参加者 300 名超)が報告されるとともに、賛助会員の拡大に向け取り組むこと、および既存会員にとっての価値向上に向けた具体策の更なる検討が決定された他、2022 年予算案をはじめとする業務運営に係る事務局提案が了承された。

### 3.3.3 各委員会における活動状況

#### 1. 海運政策委員会 (SPC) 中間会合

当協会友田副会長が委員長を務める海運政策委員会 (Shipping Policy Committee: SPC) は、第 34 回 中間会合を 2022 年 4 月 18 日オンライン開催予定 (新型コロナウイルス感染拡大の影響による。他委員会の中間会合も同様の理由で、2020 年以降対面会合を回避している)。

#### 2. 船員委員会 (SC) 中間会合

船員委員会 (Seafarers Committee: SC) は Han Chao 委員長 (中国船協) のもと、第 26 回中間会合を、2021 年 4 月 14 日にオンラインで開催し、台湾、香港、日本、韓国、ASEAN の各船協が参加した。各国の船員確保の状況、STCW や ILO MLC 等の関係条約、コロナ禍下での船員交代状況、乗船中のメンタルヘルスや休憩時間の記録等について意見交換が行われた。第 27 回中間会合は、2022 年 4 月開催予定。

#### 3. 船舶保険・法務委員会 (SILC) 中間会合

船舶保険・法務委員会 (Ship Insurance and Liability Committee: SILC) は Richard Hext 委員長 (香港船協) のもと、第 27 回中間会合を 2022 年 3 月 16 日にオンラインで開催し、日本、香港、韓国の各船協が出席した。ロシアによるウクライナ侵攻を受けた戦争保険除外水域の設定・拡大や、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響について今後の動向を注視していくことが確認されたほか、豪州政府が提案している船主の責任制限限度額改正を視野に入れた事故データの収集に関しては慎重な議論を求めていく方針を確認した。その他、HNS 条約、自動運航船や海賊問題について情報が共有された。

#### 4. 航行安全・環境委員会 (SNEC) 中間会合

航行安全・環境委員会 (Safe Navigation and Environment Committee: SNEC) は Caroline Yang 委員長 (ASEAN (シンガポール) 船協) のもと、第 38 回中間会合を 2021 年 11 月 8 日に、第 39 回中間会合を 2022 年 3 月 11 日に、夫々オンラインで開催した。GHG 排出規制問題、船舶バラスト水規制管理条約 (BWM Convention)、海賊問題など海上安全・環境保護に関連する諸課題について意見交換が行われた。

#### 5. シップリサイクリング委員会 (SRC) 中間会合

シップリサイクリング委員会 (Ship Recycling Committee: SRC) は、Ron Huang 委員長 (台湾船協) のもと、第 24 回中間会合を 2021 年 3 月 25 日～31 日、第 25 回中間会合を 2022 年 3 月 21 日～28 日にかけて夫々書面で開催した。各会合では、各船協のカントリーレポートが発表された他、香港条約 (シップリサイクル条約) の早期発効に向け、主要解撤国での実地調査で確認したシップリサイクルヤードの改善状況等が報告され、併せて意見交換が行われた。